



中曽根康弘賞の概要

2010年7月
(財)世界平和研究所

1. 中曽根康弘賞の創設主旨

当研究所は1988年設立以来、多方面にわたる調査研究、内外の有識者を招聘した国際会議の開催、各国の著名研究機関との交流等幅広い活動を展開してきたが、その事業活動の一環として中曽根康弘賞表彰事業を行なっている。

2001年9月の米国同時多発テロ以降、中東問題や朝鮮半島を巡る国際緊張の高まり、新しい国際秩序創造への模索、地域経済協力体制構築の動き等国際政治・経済情勢は大きな変貌を遂げており、また、環境・エネルギー問題等世界的に解決すべき課題も山積している。

このような状況下でさまざまな問題に果敢に取り組み、21世紀の明るい展望を開いていくのは、創造的な知性と積極的な行動であり、それは特に若い世代に大きく期待するところである。以上の趣旨から政治、経済、文化、科学技術等多様な分野において国際的に見るべき業績をあげている若い世代に対して表彰を行い、その努力をたたえと共にさらに新たな活動を奨励することにより、真に平和で豊かな国際社会の実現に資することとしたい。

2. 賞の概要

(1) 授賞対象事項

以下の各分野におけるすぐれた研究活動または実践活動

- ① 国際社会における平和と安全の確保
- ② 国際経済の発展及び経済協力等の推進
- ③ 文化・芸術交流、文化協力等国際的文化活動
- ④ 国際科学共同研究、科学技術協力等科学技術分野における国際的活動
- ⑤ 環境、エネルギー、医療、貧困等地球規模の諸問題に対する取り組み

(2) 受賞者の資格

日本及びアジア・太平洋の国または地域に属する者で、原則として45歳以下の方

(3) 選考方法

選考は当研究所が予め依頼する各界有識者の推薦及び自己推薦（公募）に基づき、選考委員会において選考する。原則として毎年夏から冬にかけて募集期間を設定し、翌年6月に授賞式を行う。

3. 運営委員会及び選考委員会

(1) 役割

- ① 運営委員会

有識者及び平和研関係者により組織され、本賞の運営に関する方針を決定すると共に、選考委員会の選考結果を承認する。

②選考委員会

有識者及び平和研関係者により組織され、受賞者を選考する。

(2) 名簿 (50 音順、敬称略)

〔運営委員〕		〔選考委員〕	
今井敬	新日鐵相談役名誉会長	歌川令三	平和研研究顧問
佐藤謙	平和研理事長	久保文明	東京大学教授
ジェラルド・		田近栄治	一橋大学教授
カーチス	コロンビア大学教授	西原 正	平和・安全保障研究所理事長
小島明	日本経済研究センター会長	北岡伸一	平和研研究本部長
小林陽太郎	富士ゼックス相談役最高顧問	山本正	日本国際交流センター理事長
佐瀬昌盛	拓殖大学教授		
長谷川和年	元駐オーストラリア大使		
福川伸次	機械産業記念事業財団会長		
グレン・S・			
フクシマ	エアバス・ジャパン社長		
北岡伸一	平和研研究本部長		
渡邊昭夫	平和・安全保障研究所副会長		